

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp

6月号

「ぼくのアサガオ、たおれていないかな……。」

～びしょ濡れになりながら、

植木鉢の双葉を覗き込む姿に思うこと～

学校長 鈴木 和枝

26日の木曜日、ロータリーでアサガオの世話や観察をして学習をしている1年生に声をかけられました。「校長先生、ぼくたち、今アサガオをお引越したんだよ！」と、彼の顔はとても自慢気です。「なんでお引越しをしたの？」と問うと、「今日はとてもお天気がいいでしょう。今まで置いておいた所は、もうお日様の光が来なくなっちゃったから、お日様の光がたくさん来る所にお引越したんだよ。これでもっと大きくなるよ。」と今後の成長を楽しみに思っている答えが返ってきました。



最近の朝のロータリーには「ハートが二つくっついているみたいな葉っぱだね。」「きのうより大きくなってる!」「私のアサガオは元気だと思う。だって葉っぱがぱっちり開いているから。」……こうした1年生の新鮮な発見や見立て、つぶやきがあふれていたのですが、翌27日は大雨、強風。アサガオの双葉は風の勢いに今にも飛ばされそうに見えました。もちろん、子どもたちの登校は大変で、ましてや体の小さい1年生は自分のことで精一杯。そんな中、びしょ濡れになりながら、アサガオの様子を覗にきた子がいました。前の日に、アサガオのお引越しの話をしてくれた子どもです。「ぼくのアサガオ、たおれていないかな……。」と言いながら、植木鉢を覗きます。倒れていない無事な様子に、心配そうな顔がほっとした表情に変わりました。「きっと、この子はこれからも自分のアサガオの成長に本気で関わり、一喜一憂しながら、いろいろなことを感じ、学ぶのだろうな。」と感じ、子どもたち一人ひとりのこうした思いや願いを分かち合い、学び合えるようにしたいと強く思いました。

何日か前には「すごいよ!校長先生。この前までただの『種』だったのに、こんな風に出てきて大きくなったよ。」と芽を指さしながら言った子もいました。こうした発見や気づきが体験を通しての学びのスタートです。発見や気づきは、言語で表現され、それが次に「もっとこうしたい!」という意欲につながり、意欲は課題解決のエネルギーの基になります。子どもの声に丁寧に耳を傾け、子どもたちの「自分のアサガオ」への思いをさらに本気のものに高めたいと思いました。今年度は、このように、ひと、こと、ものと真剣に関わることでの学びをより一層大切にします。

市教育委員会よりの通知を受け、5月26日付で「学校における熱中症対策としてのマスクの取り外しについて」を各ご家庭に文書配付いたしました。内容は、熱中症による健康被害発生のリスクを考慮し、適宜マスクを外すお知らせです。特に、**登下校時においては、周りの人との距離が十分に保てる場合や会話をしていない場合は、外すよう指導しております。**何かお気づきの点等ございましたら、お手数ですが学校までお知らせいただけますと幸いです。また、水泳学習も、児童の健康安全を第一に考えた上で、コロナ禍以前の時数よりも少ない時間で実施いたします。梅雨の鬱陶しい季節となりますが、どうぞよろしく願いいたします。